

ロンドンオリンピックで富士見市民から

金メダリスト誕生

レスリング
女子 48 kg級

小原 日登美選手 おめでとう！



金メダル

ロンドンオリンピック第13日目(英国時間8月8日)、レスリング女子フリースタイル48kg級で富士見市鶴瀬西在住(自衛隊体育学校所属)の小原日登美選手が金メダルに輝きました。

小原選手は、世界選手権の51kg級で6回の優勝という輝かしい実績をもちながら、オリンピック出場は今回が初めて。その道のりは決して楽なものではありませんでした。

本来の階級である51kg級は、オリンピックの種目外であったため、2008年の北京大会では55kg級で出場を目指すも国内選考会で吉田沙保里選手に敗れ、代表の座を逃しました。

一度は引退したものの、同じレスリング選手だった妹や夫の支えで2009年に48kg級で復帰を果たします。復帰後、2010年・2011年の世界選手権で優勝し、オリンピックの切符をつかみ取りました。

小原選手の普段の体重は55kg、減量に失敗し、体が思うように動かず、「自

分のレスリングが分からなくなった」、「試合に出たくない」と訴えたこともあったと言います。

それでも夢だったオリンピックを目指し、地道に練習を積み重ね、その思いが金メダルとなって実を結びました。

試合後、小原選手は「本当に信じられないです。オリンピックの舞台に立てて、優勝できたのでうれしいです。本当に私一人ではこの金メダルは取れ

なかったのだと、皆の力でとれたメダルだと思えます。マットに立った時、皆の応援が力になって「一人じゃないんだ」と思えたので、諦めずに頑張れました。今まで支えてくれた皆の顔が浮かんで、皆に笑顔を見せることができ、恩返しをすることができてとてもうれしいです。どんな時にも諦めずに頑張れば夢がかなうんだと思えました。」と語られました。

小原選手、勇気と感動をありがとうございました。

市民の皆様と祝福したい

星野信吾市長

全ての試合を通じ、小原選手のオリンピックにかける熱い思いが伝わってきました。決勝は劣勢からの冷静な試合運びで金メダルを獲得し、最後まで諦めない気持ちと、これまで支えてくれた方々への感謝の思いが強く感じられ、目頭が熱くなりました。

帰国後は、ぜひ市民の皆様とともに祝福し、あらためて金メダルのお祝いをしたとを考えています。



おばら ひとみ
小原 日登美 選手

(富士見市鶴瀬西在住)

生年月日：昭和56年1月4日
出身地：青森県八戸市
出身校：八戸工業大学第一高校卒業
中京女子大学卒業
所属：自衛隊体育学校
(入隊：平成17年)

世界選手権優勝8回

- 51kg級優勝6回
2000年、2001年、2005年、2006年、2007年、2008年
- 48kg級優勝2回 2010年、2011年